



ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 志釜

事務局からのお知らせ

●友の会活動を再開しました！●

5月25日の緊急事態宣言解除に伴い、6月2日に自然観察センターが開館し、友の会活動も6月9日から段階的に再開しています。

第一段階（6/9～）調査を中心とした活動

第二段階（6/17～）調査に加え、管理を行う活動

最終段階（7月以降）感染状況を見極めながら教育活動をはじめの予定です。

友の会の活動は従来通りではなく、会員全員が感染拡大防止を最優先事項という意識を持つことを前提としています。詳細は本号5ページの「感染拡大防止を踏まえたボランティア活動ガイドライン」をご確認ください。引き続き、自然観察センターと歩調を合わせた対応を取っていきますので、友の会行事、センター行事とも変更の可能性もあります。会員のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

友の会のホームページ (<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)

で随時情報を更新していきますので、ご覧ください。

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

森のこぼれ話

ふむふむ

スマホ・アコースティック・スピーカ

クラブ活動経費の一助を得るための「花と緑の春フェア」用商品として、僕は数年前から「スマホ用アコースティック・スピーカ」を制作している。オリジナルなモノを創作しているので、まあスマホ・アコースティック・スピーカ作家ということになるかな。

今年は新型を開発した。鍋敷きにもなる優れもの。今までは、間伐材の風合いをできるだけ残した材（例えば枝を玉切りく厚いボンレスハム状）にただけ）を使い、主に iPhone 用を制作していた。しかし、iPhone を含め昨今のスマホは激しく大型化して（ひとえに大容量バッテリーを搭載したためだが）、ボンレスハムの形状ではバランスが悪くなってしまった。また、音が出る部分が iPhone と位置が異なるスマホも多いので、それにも対応できるようにした。加工度の高い板材の使用を控えてきたが、モノによってはこのようにきれいな模様（これはサクラの板目材）を持っていて、二つとない個性が表現できるのも楽しいので、今回は積極的に使うこととした。

今作は板2枚を画像のように加工（残念ながら機械加工）して貼り合わせたシンプルな形状で、スマホを左画像の後方スリットに挿しこむか（iPhone など下部小口にスピーカがあるタイプ）、音の出る部分（背面スピーカ）をスリット上に合わせて置いて使用する。

原理は簡単で、スマホから出た音がメガホン状の部分を通することで音が拡大される（蓄音機と同じ原理）。裏面が開放されているが、通常は平らな面に置くのでメガホン形状が構成される。前部にスリットを2本切っているのは、拡大された音が真横だけでなく上方向へも出て、聞き取り易くするためだ。外部からの電源等のエネルギーなしで、音が拡大されるのでエコなのである。春フェアはイベントのご多分に漏れず COVID-19 のお陰で中止になってしまい、未だに我が手元にある。

今回の COVID-19 禍は経済・文化活動だけでなく、様々なボランティア活動にも大きな影響を与えた。恐らく、これまで通りのボランティア活動の多くが、今まで通りの実施はかなり難しくなるものも少なくないのではと思う（僕のやっているデイサービスでの傾聴ボラは密着当たり前）。

人類（生き物も？）の営みは本当に細い綱の上に、たまたまバランスしていたものだと実感する。今が最善だと奢らずにいることが本当に大切だ。

雑木林ファンクラブ 関根和彦



●第32回定期総会報告(書面開催)●

日時 2020年4月5日(日) (→「COVID-19」感染拡大防止のため書面開催)
議案 2019年度事業報告、決算・監査報告、2020年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会が定例会メーリングリストを活用して書面開催され、議案はいずれも原案どおり承認されました。新しい長期目標(2020-29)及び中期計画(2020-22)の実現に向け、皆様の心を一つにして、ご協力のほどよろしくお願い致します。

<2019年度報告> (人数は参加延べ人数。 ※…アライグマ捕獲罟巡回活動含む)

友の会行事	25 項目・127 回 (会員 599 人、一般 996 人)
センター行事支援※	8 項目・69 回 (会員 124 人、一般 647 人)
ネットワーク活動	4 項目・6 回 (74 人)
会議等	5 項目・17 回 (169 人)

行事報告 合計 42 項目・219 回 (会員 966 人、一般 1,643 人)

【参考】 前年度(2018) 42 項目・261 回 (会員 1,222 人、一般 2,629 人)
※前年度比 ▲42回(▲16%) ▲256人(▲21%) ▲986人(▲38%)

PJ活動	36 項目・483 回 (2,499 人)
事務局内調査等活動	3 項目・9 回 (20 人)
事務局事務	4 項目・42 回 (115 人)

PJ活動報告 合計 43 項目・534 回 (2,634 人)

【参考】 前年度(2018) 44 項目・557 回 (2,964 人)
※前年度比 ▲23回(▲4%) ▲330人(▲11%)

※2月29日からの臨時休館と活動休止の影響等により前年度比で大きな減少がみられます。

<2020年度計画>

行事計画 44 項目・273 回 ※ (内、友の会行事(主催・共催) 187回)
PJ活動計画 45 項目・561 回

<理事・監事選任>

PJ 枠 : 秋元・大浦・落合・中里・西山・星隈・村松
事務局 枠 : 青木・漆原・関根・中塚・吉田
会員公募枠 : 山口・今村
監事 : 大越・水上

●5月定例会報告(書面開催)●

自然観察センターの休館が延長されたため、友の会の活動も休止しています。

5月の定例会はメールによる書面開催となりました。4月、5月の活動報告、6月以降の行事予定が確認されました。

次回の定例会は、7月18日(日)10時より予定されています。

定例会は会員の方どなたでも参加出来ます。

●2020年度 安全管理講習会●

タイトル:「子どもたちの発達、その理解と自然体験」

場所: 横浜自然観察の森観察センター 研修室

再度日程調整中

日時が確定しましたら、友の会ホームページでご案内します。

●5月理事会報告(書面開催)●

日時 2020年5月17日(日) (→「COVID-19」感染拡大防止のため書面開催※)

※理事会審議事項について総会資料の中で同時に確認済です。

1 役員・担当理事互選(総会資料により確認済)

会長	山口
副会長	大浦、落合
会計	青木
事務局長	中里
編集・広報	今村
編集サポート	中里、秋元
会員交流行事	吉田
会員名簿管理	漆原
ネットワーク	秋元
書記統括・ホームページ	関根
安全管理	中塚

2 年間スケジュール(総会資料により確認済)

11/15 中間報告・次年度方針、1/17 次年度事業計画、3/21 総会準備ほか

<次回理事会>

日時 11月15日(日) 11:00~12:30(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室 議題 中間報告、次年度方針ほか

■新・長期目標と中期計画

◆長期目標(2020~29)

「未来へつなぎ、みんながつながる、生き物のにぎわいのある森」

◆中期事業計画(2020~22)

- ① 生物多様性を育む豊かな自然環境を次の世代へつなぎます。
- ② 多くの人々を豊かな自然環境につなぎます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と戦いながらの厳しいスタートとなりますが、このような分断された状況下だからこそ、「つなぎ、つながる」をテーマとした新しい長期目標及び中期計画の実現に向け、皆様の心を一つにして、ご協力のほどよろしくお願い致します。また、「新しい生活様式」に適応した、新たな活動スタイルのアイデアなどもご提案くださいますようお願いいたします。

友の会行事のお知らせ

●森を守るボランティア体験●

日時：8月16日(日) 9:30~12:00 雨天催行

内容：不要木の伐倒 と友の会活動内容の紹介

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。
感染症対策のため予定変更する場合があります。

担当：雑木林ファンクラブ

●事務局より● 観察センターと友の会で確認した活動ガイドラインを掲載します。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止を踏まえた ボランティア活動ガイドライン

□背景：5月25日の緊急事態宣言解除に伴い、自然観察センターの開館に向けて準備を開始します。それに伴い、施設ボランティア「横浜自然観察の森友の会」の活動再開に向け、会員の安全を第一に考えたガイドラインを示し、協議していきます。友の会の活動は従来通りではなく、会員全員が感染拡大防止を最優先事項という意識を持つことを前提とします。

□方向性：自然観察センターの開館を6/2火曜日に予定。開館準備と運営が軌道にのるまでの時間を要するため友の会活動の再開は、1週間後の6/9火曜からと考えています。

また活動は段階を経て再開するものとし、

第一段階（6/9～）調査を中心とした活動、

第二段階（6/17～）調査に加え、管理を行う活動、

最終段階（7月以降）感染状況を見極めながら教育活動をはじめます。

*人が直接関わる教育活動については、みどりアップ推進課森づくり担当の主催イベントが感染症予防と熱中症対策を考慮し**7、8月は中止**としている。これに伴い、観察センターも人が直接関わるイベントは中止の方向。いずれも各プロジェクトリーダーと担当レンジャーが相談の上、プロジェクトごとに活動内容を調整していくものとします。活動再開を希望しない場合にはそれを強制しないものとします。

□内容：

1.会員の安全

- ・自分の健康状態を監視し、体調が悪い場合は活動に参加しない。
- ・高齢また基礎疾患をお持ちの会員は感染後の重症化のリスクが高いことを踏まえ、参加の是非を自身の責任で判断する。
- ・公共交通機関を利用する会員が混雑時を避けて来園できるよう、活動時間に配慮する。
- ・当日の活動リーダーはこれまで同様参加メンバーを記録する。
- ・自宅で1回、観察の森到着時にもセンター貸し出しの用具で1回体温をチェックする。その結果は記録し、37.5度を超える体温が記録された場合や体調がすぐれない場合は、速やかに担当レンジャーに報告する。
- ・マスクを着用する。マスクを忘れた場合には、マスクの代わりになるタオル、手ぬぐい等で口を覆う。ただし熱中症のリスクを考え野外で距離が保てる状況であれば、各自適宜マスクを外す。
- ・マスクを着用した状態での呼吸が激しくなるような活動、強い負荷のかかる作業は無理をしない。
- ・活動中は必要に応じて手を洗う。手指消毒剤は活動中常に使用できる場所に設置する。
- ・会員同士の社会的距離（2メートル）を維持するため、プロジェクトにより2つまたは3つのチームに分ける、活動時間を再検討するなど「3密」にならないよう柔軟な作業体制を組む。
- ・活動中の食事についても集まってとるのではなく、お互いが十分な距離を保てるように気を付ける。
- ・活動中、体調が悪くなった場合必ず感染症のリスクがあることを念頭に置き、要介助者を野外の安全な場所に休ませる。その際の対応は2人程度と限り、同時に速やかに観察センターに連絡をする。リーダーは直ちにその日の活動を中止とし、自分たちが濃厚接触者の可能性があることを認識しセンターから指示があるまで、指示された場所にて待機する。

2.来園者との付き合い方

- ・会員と来園者の間も社会的距離（2メートル）を維持することを心掛ける。活動への質問等の場合にも距離が保持できない場合は、来園者に自然観察センターを尋ねるよう促す。

3.施設管理

- ・ごろすけ館について、最大利用人数は5人とする。また一般開放スペースは、園内利用者の救護室として使用の可能性がある。
- ・頻繁に触れる表面や物品の清掃と消毒の頻度を増やし、可能な場合はすべての取り扱い可能な物体を取り除く。

本内容は、社会情勢や活動状況に応じてその都度見直していくものとします。

2020/05/30 作成



自然観察センターだより



2020年 6月号

【おしらせ】 自然観察センター再開にあたって 感染症予防のおねがい

6月2日より、観察センターは約3か月ぶりに開館しました。休館中、友の会の皆さまには活動や来園の自粛などのご協力をありがとうございました。センターの機能・友の会の活動ともに段階的に再開しておりますので、「新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止を踏まえたボランティア活動ガイドライン」に沿ったご協力を引き続きお願いいたします。なお、隣接する上郷・森の家は6月6日時点で休館が続いています。駐車場と森の家口は9時～17時に利用時間が短縮されています。最新の情報をご確認の上、ご来園ください。

【おしらせ】 保安全管理フォローアップ 今後の予定

★7月11日(土) 13時～15時

内容：草地でのセイタカアワダチソウの除草(予定) 集合：センター前

外来種のセイタカアワダチソウが近年勢力を盛り返しているように思います。友の会の皆さんや企業のCSR活動などでも除草をおこなっていますが、より効果的な除草の時期を調べるため、7月と9月のフォローアップで調査と除草作業をおこないたいと考えています。

持ち物：作業のしやすい服装、帽子、飲み物、滑り止めつき軍手、マスク

※準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か、中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。なお、感染症予防や熱中症対策を考慮して、中止する場合があります。定例のメーリングリストで最終的なご案内をいたします。

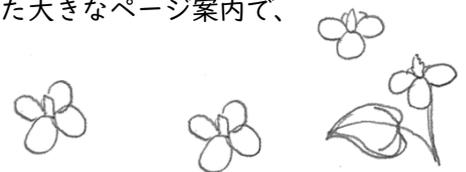
【おしらせ】 ホタルの観察と夜間の開園について

6月1日から7月20日の期間、ホタルなどの観察のために夜間の開園を行います。サインに従い、観察エリアを守って安全にご利用ください。観察エリアは主に舗装道路上とヘイケボタルの湿地周辺です。全域ではありませんのでご注意ください。なお、例年開催している「ホタル ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場」は人の密集を防ぐため開催を見送りました。観察マナーの普及など巡回はレンジャーが定期的に行います。

【おしらせ】 ホームページをリニューアルしました

自然観察センターのHPをリニューアルし公開しました。写真を用いた大きなページ案内で、目的の情報にアクセスしやすくなりました。

今後も内容の追加やレイアウトの改善を進めてまいります。



【おしらせ】 おうち時間を楽しむ コンテンツ WEB 配信中

感染症予防を意識した「新しい生活様式」が始まっています。イベントや学校活動にさまざまな制限が残る中、家で自然を学び、楽しむためのコンテンツを用意しました。

「春のおさんぽピンゴ(4/29配信)」や「鳥のくちばしと食べものワークシート第1弾(6月配信)」などが観察センターHPより入手できます。また、(公財)日本野鳥の会のHPでも大人向けの、美しい野鳥ぬりえなどを配信していますので、お楽しみください。

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者：



行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●ハイド前の草刈り

8/30(日) 9:00～11:00 少雨決行
集合場所：観察センター前
担当：カワセミファンクラブ

●森を守るボランティア体験(間伐作業)

8/16(日) 9:30～12:00
対象：どなたでも(小学生以下保護者同伴)
受付：自然観察センター研修室

●2020年度 安全管理講習

タイトル：子供たちの発達、その理解と自然体験
場所：自然観察センター研修室

開催日時未定

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
7/5(日)・8/2(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
7/12(日)・8/9(日)
9:00～13:00 少雨決行
受付：自然観察センター前にて
対象：どなたでも(双眼鏡・図鑑貸出あり)
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●自然観察センター主催行事●

今後の行事については調整中です。
詳細は観察の森ホームページをご確認ください。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
7/15(水)・8/26(水)
10:30～12:00 絵本製作
受付：ごろすけ館 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
7/18(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜

★注意★

新型コロナウイルス対策の状況によっては、各行事の中止、開催日変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/) で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

●定点カメラで動物調査

7/11(土)・8/8(土)
9:30～12:00
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。
対象：友の会会員向け
持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参
集合：ごろすけ館
5月～11月の毎月第2土曜

発行日 2020年6月21日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com